

# C

## アンケート 「セミと人の暮らし」

このアンケートでは、あなたとセミがどれだけ親しいかを教えていただくことで、日本人の暮らしのなかにセミがどれくらいかかわっているのを知りたいと考えています。あなたがセミに対して日ごろからどれくらい興味を持たれていたのか、ありのままにご記入いただければと思います。

### 調査票の記入方法

ここに記入することがらは、あなた自身の個人的な経験や情報によるものです。大勢で相談して記入したり、本を読んで記入したりしないでください。

#### ■問1について

地域ごとのセミの呼び方（地方名）を記入していただきます。

「どんなセミを」という欄には、一般的な種名を記入してください。ただし、「春に鳴くセミ」とか「松林にいるセミ」など、季節や場所を使った書き方でも結構です。

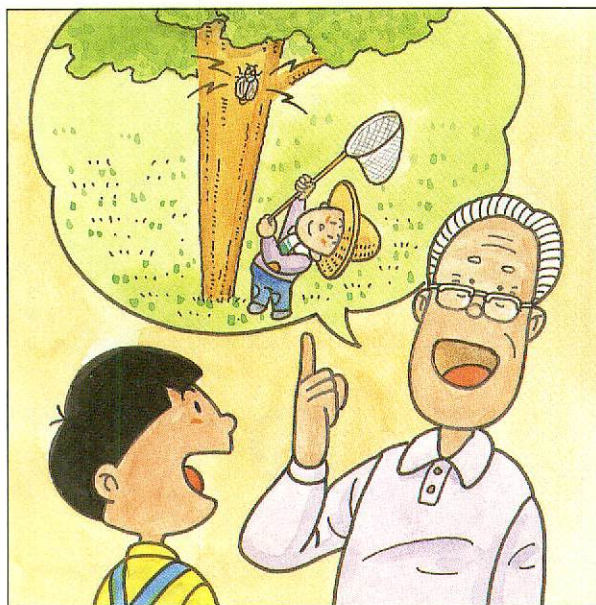
「どんなふう呼びますか」という欄には、地方名を記入してください。

#### ■問2について

あなたのお住まいの近くで、セミがたくさん鳴いている場所があったら記入してください。なければ記入しなくて結構です。

#### ■問3について

セミに関して体験したことがある人もない人も、性別と年齢はかならず記入してください。また、1回でも体験したことがあれば、そのことがらに○をしてください。



### ご注意(団体参加の場合)

このアンケートは個人情報をご記入いただくものです。ですから団体参加の場合、多くの方の情報をまとめて記入しないでください。代表の方の個人的な情報を記入するか、この用紙をコピーして全員が記入するか、どちらかをお願いいたします。

### 自由記述欄について

セミについての、あなたの熱い想いを自由にご記入いただくところです。ここで書かれた内容については集計はいたしません、大切なご意見として、報告書作成などの参考にさせていただきます。



# [アンケートの記入例]

このアンケートには、  
あなたの個人的な体験  
や情報をご記入ください。

参加者番号は、調査資料をお送りした封筒の、宛名ラベルに印字されています。

**C** **身近な生きもの調査 '95** **アンケート「セミと人の暮らし」**

参加者番号

氏名

▼ここには記入しないでください

■問1 どんな地方名をご存じですか

どこで	どんなセミを	どんなふうに呼びますか
静岡県 都道府県 静岡 市区町村	ヒゲラシ	カキカキ
都道府県 市区町村		
都道府県 市区町村		

■問2 あなたのご存じの範囲(おおよそ住まいの市町村内)で、  
セミの声が多く聞こえる場所をあげてください。

(1) 場所の名前 **豊田臨海公園**

街なか・里	1.公園	2.社寺	3.庭	4.保存緑地	5.街路	6.その他( )
その場所の環境	1.公園	7.雑木林	8.マツ林	9.スギ林	10.シイ・カシ林	11.不明 12.その他( )
その他	13.河原の林	14.砂浜の林	15.その他( )			

(2) 場所の名前

街なか・里	1.公園	2.社寺	3.庭	4.保存緑地	5.街路	6.その他( )
その場所の環境	7.雑木林	8.マツ林	9.スギ林	10.シイ・カシ林	11.不明	12.その他( )
その他	13.河原の林	14.砂浜の林	15.その他( )			

(3) 場所の名前

街なか・里	1.公園	2.社寺	3.庭	4.保存緑地	5.街路	6.その他( )
その場所の環境	7.雑木林	8.マツ林	9.スギ林	10.シイ・カシ林	11.不明	12.その他( )
その他	13.河原の林	14.砂浜の林	15.その他( )			

■問3 あなたのセミに関する体験をお聞かせください。

(1) まず、あなたの性別と年齢をご記入ください。 性別  男  女 年齢 **23** 歳

(2) つぎの項目で体験したことのあるものに○をつけてください。いくつでも構いません。

<input checked="" type="checkbox"/> ① セミと会ったことがある。	<input type="checkbox"/> ② タモの巣でセミをとったことがある。	<input type="checkbox"/> ③ セミの幼虫を見たことがある。
<input checked="" type="checkbox"/> ④ セミの羽化を見たことがある。	<input type="checkbox"/> ⑤ セミの子を食べたことがある。	

■問4 セミの地方名の由来やどなたからその地方名を聞いたか、また、セミに関する疑問や興味のあることから、あるいはセミに関する思い出など自由にご記入ください。

セミの声が多く聞こえる場所がなければ、記入しなくてかまいません。



# 3. 調査結果の返送方法

見つけたぬけがらや調査結果を書き込んだ調査票の返送方法を説明します。少ししか調査できなかったとしても、大切な調査結果ですからかならず環境庁までお送りください。みなさんからお寄せいただく一枚一枚の調査票が、日本の自然を知る貴重な情報となります。

- 返送期限は、平成7年9月末日(必着)です。
- ぬけがらを入れたフィルムケースと記入済みの調査票をまとめて返送ください。
- 調査票は折らないでください。  
(ただし「ぬけがら調査票」は折ってフィルムケースに入れてください)
- 切手代はみなさんにご負担いただきます。環境庁からお送りした所定の封筒に、重さに応じた切手を貼って投函してください。
- 「参加者アンケート」も、調査票と一緒に送ってください。  
調査票をお送りいただいたみなさんには、データを集計の後、できるだけ早く報告書をお送りいたします。



ヒグラシ

本書はつぎの方々の協力を得て作成しました。

〔企画検討〕

自然環境保全基礎調査検討会  
身近な生きもの分科会

梶 真史 (厚木市教育委員会博物館準備係)

(座長) 大場 秀章 (東京大学助教授)

大森 雄治 (横須賀市自然博物館学芸員)

浜口 哲一 (平塚市博物館学芸員)

望月 賢二 (千葉県立中央博物館自然史・歴史研究部長)

〔執筆協力〕 梶 真史・浜口 哲一

〔指導〕 林 正美 (埼玉大学助教授)

〔写真〕 浜口 哲一・吉谷 昭憲

〔イラスト〕 ひらかわ しょうじろう

〔デザイン〕 デザインルーム風都市

'95  
身近な  
生きもの  
調査



■平成7年5月  
第1刷発行

■発行者 環境庁自然保護局  
計画課自然環境調査室  
〒100東京都千代田区霞ヶ関1-2-2  
☎03-3591-3228